

温泉の成分、禁忌症、適応症

成 分		禁 忌 症 、 適 応 症		
1 温泉利用施設名称	花の風	1 禁忌症		
2 源 泉 名	混合泉 (峰1号・2号・20号・28号・谷津6号・38号)	浴 用 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病（ただし高温浴（おおむね42℃以上）の場合）、呼吸不全、出血性疾患、高血圧症（ただし高温浴の場合）、高度の貧血、高度の動脈硬化症（ただし高温浴の場合）、腎不全、その他一般に病勢進行中の疾患		
3 湧出又は採水地	賀茂郡河津町浜84-1	2 適応症		
4 泉 質	ナトリウム-塩化物温泉 (低張性・弱アルカリ性・高温泉)	浴 用 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、きりきず、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱児童、病後回復期、疲労回復、健康増進		
5 泉 温	源泉又は採取地 62.1℃	3 温泉浴用上の注意事項		
6 温泉の成分 (pH 7.93)	陽イオン	mg/kg	1) 温泉療養については、温泉について専門知識を有する医師の指導を受けることが望ましい。 ・ 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日1回程度とし、その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。 ・ 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間とし、湯あたりが現れたら、症状が回復するまで、入浴回数を減じ又は入浴を中止すること。	
	ナトリウムイオン (Na ⁺)	279.4	2) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。	
	カリウムイオン (K ⁺)	22.2	3) 入浴中は一般には安静を守り、入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。	
	マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	1.4	4) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は、真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)	
	カルシウムイオン (Ca ²⁺)	45.2	5) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので、身体にかけ湯をしてから入り十分注意する。	
	鉄 (II) イオン (Fe ²⁺)	0.2	6) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。	
陰イオン	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	60.1	7) 飲酒してからの入浴は特に注意す。	
	塩化物イオン (Cl ⁻)	401.7	4 浴槽の温泉利用状況（加水、加温、添加物質、再利用、ろ過）の理由等。	
	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	134.5	5 加水の有無 施設内全浴槽 あり（源泉温度が高いため源泉元で加水しています）	
	リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	0.6	6 加温の有無 施設内全浴槽 あり（入浴に適した温度に保つため加温しています）	
非解離成分	メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	122.9	7 添加物質の有無 施設内全浴槽 なし	
	メタホウ酸 (HBO ₂)	2.2	8 再利用（循環）の有無 施設内全浴槽 あり（衛生管理のため循環ろ過装置を使用しています）	
容存ガス成分	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	6.2	9 ろ過の有無 施設内全浴槽 あり（衛生管理のため循環ろ過装置を使用しています）	
	その他微量成分		10 消毒の有無 施設内全浴槽 あり（衛生管理のため：静岡県旅館業法施行条例の基準を満たすため塩素系薬剤を使用しています）	
成分総計	アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.02	温泉の分析終了年月日 平成29年8月7日	
	マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.01	分析機関名 静岡県静岡市北安東4丁目27番2号	
	鉄 (III) イオン (Fe ³⁺)	<0.05	(財) 静岡県生活科学検査センター	
	銅イオン (Cu ²⁺)	<0.01	掲 示 表 作 成 者 静岡県温泉協会 賀茂支部	
	水酸イオン (OH ⁻)	0.017	支 部 長 渡 辺 權	
	臭素イオン (Br ⁻)	<0.05		
	ヨウ素イオン (I ⁻)	<0.05		
	メタ亜ヒ酸 (HAsO ₂)	0.049		
	成 分 総 計	1.018 g/kg		
	温泉利用許可（浴用） 平成19年8月14日 賀保衛第412号			